

## 名言・格言



発明の原点は、どうしても二階に昇りたいと思うかどうかだ。  
そうすれば、ハシゴを思いつく

本田宗一郎  
ほんだ そういちろう

1906年（明治39年）11月17日 - 1991年（平成3年）8月5日 享年84歳）は、実業家、技術者。本田技研工業（HONDA）の創業者。正三位、勲一等旭日大綬章贈位される。

静岡県の小さな村の貧しい鍛冶屋の息子として生まれる。高等小学校卒業後、東京の車修理工場「アート商会」へ丁稚奉公に出る。22歳の時に、郷里に戻って自動車修理工場を開く。エンジンに欠くべからざる部品としてピストンリングに目をつけるが、経験からだけではどうにもならない学問的な壁に突き当たり、浜松高等工業学校（現・静岡大学工学部）機械科の聴講生となり、3年間金属工学の研究に費やす。1946年（昭和21年）浜松市に本田技術研究所設立。1948年（昭和23年）本田技研工業株式会社を設立、二輪車の研究を始め、

部品制作から二輪車の製造を始める。1957年、東京証券取引所一部上場へ。翌年、人気シリーズ、スーパーカブの発売。

1963年（昭和38年）に日本の最後発四輪車メーカーとして、四輪事業に参入。参入と同時に、世界最高峰の四輪モーターレースである、F1レースへの参加を決める。まだ事業としては軽トラック生産しか行っていないのに、オートバイ分野で世界のレースを総なめにした技術をひっさげて、1964年に四輪レースに参入したのである。そしてその翌年、メキシコグランプリで優勝。